

令和元年12月27日
東部農林振興センター出雲事務所農業普及部

標題 | ビニール被覆は俺たちにまかせろ(出雲ぶどう部会青年部組織化分科会)

(ダイジェスト)

出雲ぶどう部会では昨年、青年部が中心となって活性化プランを作成し5つの分科会に分かれ活動を行っています。組織化分科会ではビニール被覆作業の組織化と請負に的を絞り、より多くの需要に応えられるよう工夫をこらし活動を行っています。

高齢のぶどう農家にとって冬場のビニールの張り替えは辛い作業です。ビニール被覆作業の請負は従来からも行われており、若手の農家が個々に仲間を集め対応していました。しかし最近では作業員の不足等により要望に応えられず、栽培面積の減少に繋がる一因となっています。

そこで組織化分科会では新たに「出雲ぶどう部会ビニール被覆受託組織」を立ち上げ、①作業受注、作業員の手配、賃金の精算等は全て組織で実施、②青年部以外の若手への呼びかけによる作業員の増加、③委託農家と作業員の間に「マッチング担当」を置き、日程調整や作業チームの編成等を実施、④会計担当を設け、集金や賃金支払いなどは口座を通して精算、などの対策を行いました。その結果、作業員は従来約2倍の42名に、また受注量も約1.5倍の37件に増えました。

発注農家からは「これまでは頼んでも相手が忙しいときには来てもらえないこともあったが、今回は希望する日にすぐ来てもらえてとても助かった」と好評でした。また作業受託者からは「今までは『作業賃支払いをもう少し待ってくれ』などと言われ仲間に賃金を分配するのに困る事があったが、今回は会計に任せておけるので楽だった」との意見が寄せられました。

発注した農家からは「土作り作業や防除作業も引き受けてくれたらありがたい」などの声が聞かれています。組織化分科会では今後これらの声にも対応できないか検討していきます。



(ビニール被覆作業は風のない早朝に行います。暖冬とはいえ撮影当日はとても寒かったです。)